

2015. 7. 27

## ジェンザイム、アストラゼネカの希少疾病用医薬品 Caprelsa® (一般名：vandetanib) 取得により内分泌系のポートフォリオを 強化

2015. 7. 27

本資料は、サノフィ（フランス、パリ）およびジェンザイム（アメリカ、マサチューセッツ州）が 2015 年 7 月 27 日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集したものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。原文（英文）は、ジェンザイム社のサイト ([www.genzyme.com](http://www.genzyme.com)) からご覧いただくことができます。

フランス、パリ - 2015 年 7 月 27 日 - サノフィ (Euronext: SAN および NYSE: SNY) とサノフィ・グループの一員であるジェンザイムは本日、希少疾病用医薬品である Caprelsa® (一般名：vandetanib) 取得に関する最終契約をジェンザイムがアストラゼネカと締結したことをお知らせします。Caprelsa®は進行性もしくは症候性の甲状腺髄様癌の患者さんの中で、切除不能局所進行もしくは転移のある方を対象とした希少疾病用医薬品です。

Caprelsa®は経口のキナーゼ阻害薬であり、現在 28 カ国で販売されています。分化型甲状腺癌の適応について現在第 III 相試験を実施中で、この試験は 2015 年下半期に終了する予定です。

ジェンザイムの社長兼 CEO である David Meeker, M.D. は、「Caprelsa®は当社の希少内分泌系ポートフォリオに合致し、さらに甲状腺癌のコミュニティが感じているアンメットニーズに応えるという当社のコミットメントにも合致します」「進行した甲状腺癌で苦しんでいらっしゃる患者さんに、私たちが希少疾患領域で培った専門知識とこの治療薬をお届けできることをうれしく思います」と述べています。

この製品の取得は、世界中の内分泌領域における、ジェンザイムの長年のコミットメントと科学的リーダーシップに基づくものです。契約条件により、ジェンザイムはアストラゼネカ Caprelsa®の販売権および更なる開発のグローバル権利として契約一時金 1.65 億米ドル、そして開発や売上により発生するマイルストーンとして最高 1.35 億米ドル、最高計 3 億米ドルを支払うことになります。この契約によるアストラゼネカ従業員の移籍や施設の譲渡はありません。

アストラゼネカのグローバル製品・ポートフォリオ戦略担当エグゼクティブ・バイスプレジデントである Luke Miels は、「希少疾病用医薬品の Caprelsa®を内分泌領域のリーダーであるジェンザイムに譲渡することは、当社の主要疾患領域を絞る一方、これからもこの治療薬を患者さんに届け続けるという当社のコミットメントを表しています」と述べています。

この取引は米連邦取引委員会の独占禁止法上許可などのクロージング条件を満たした後、2015 年下半期に完了する見込みです。

### ジェンザイムについて

ジェンザイムは、30年以上にわたり、希少消耗性疾患を有する患者さんの生活に変化をもたらす治療法の開発および供給におけるパイオニア的存在です。ジェンザイムは、希少疾患および多発性硬化症に焦点を置き、患者さんおよびその家族の生活をよくすることを目標とし、この目標を日々の指針および励みとしています。2011年からはサノフィ・グループの一員となり、世界トップ製薬会社の規模と資源を活かし、共に患者さんの生活の質の向上に取り組んでいます。

日本においては、「ひとつでも多くの笑顔のために、希少疾患に向き合うみなさまへ新たな希望を届けつづけます」というミッションのもと、海外バイオ企業の日本法人としては初めて、他社と提携することなく自社単独で医療用医薬品の開発・販売に成功しました。現在、希少疾患であるライソゾーム病のうち、「ゴーシェ病」「ファブリー病」「ムコ多糖症Ⅰ型」「ムコ多糖症Ⅱ型」「糖原病Ⅱ型(ポンペ病)」の5つの治療薬と内分泌領域の1製品、併せて6つの希少疾病用医薬品を販売しています。詳細は、<http://www.genzyme.co.jp> をご参照ください。

### サノフィについて

サノフィは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。サノフィはパリ（EURONEXT：SAN）およびニューヨーク（NYSE：SNY）に上場しています。日本においては、約2,650人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

### アストラゼネカについて

アストラゼネカは、イノベーション志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細はこちらをご覧ください。<http://www.astrazeneca.com>

日本においては、主になんがん、循環器、消化器、呼吸器、糖尿病、ニューロサイエンスを重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。詳細はこちらをご覧ください。<http://www.astrazeneca.co.jp>

### サノフィ今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法（修正を含む）でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に

付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2014年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。